



ようやく朝晩の空気に、秋の訪れを感じるようになりました。それと共に、虫の鳴き声も澄んで聞こえるようになってきたのは気のせいでしょうか。子どもたちは、2学期が始まってから一か月が経ち、学習や生活が軌道に乗ってきたように思います。これから、さまざまな「〇〇の秋」を楽しみながら、いろんなことに挑戦してほしいと思います。

10月、新居浜っ子が大好きな太鼓祭りがあります。秋祭りの意義をしっかりと伝承し、郷土を愛し安全で楽しいお祭りを過ごす「うずいっ子」でありますよう、保護者、地域の皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

音楽科研修会

市内からたくさんの先生方をお招きし、音楽科の研修会がありました。

本校の4年松組による、音楽を聴いて楽器の「かけ合いと重なり」の良さや工夫、面白さなどを味わう学習でした。少し緊張気味でしたが、先生の話のしっかりと聞き、学びを深めていました。



「あはは運動」を活発に！

9月代表委員会の議題は、『「あ・は・は運動」大作戦を計画しよう』

でした。本校では、伝統的に「あ…あいさつ、は…はいの返事、は…はきものをそろえる」ということをきちんと身に付けていこうという取組が継続されています。なかなかあたりまえのようであたりまえでない、でも、とても大事なこと。うずいっ子みんな意識して身に付けていこう、クラスで出したアイデアをもとに、激論が交わされていました。

さて、児童がこれからどんな新たな取組を進めていくのか、楽しみです。



考え、話し、聞く中で！

9月26日は、人権・同和教育参観日でした。各学年の発達段階に

合わせて、人権・同和教育に関する授業を公開しました。児童は、教材をもとにそれぞれ一生懸命考え、発表したり聞いたりする中で、自分や人を大切にすることや命について、考えや思いを深められたのではないかと思います。

6校時は、『みんなで人権を考える会「ころん」』の代表をされている西山博先生をお招きしての講演会に3～6年生も参加しました。〇×クイズなどで、具体的で分かりやすいお話をしてくださり、差別についてじっくりと考え、見識を広めることができました。

